大阪市老人クラブ徽章

全国３大運動
健康·友愛·奉仕をめざして
市内全会員に配布

大老連だより

令和３年　11月号
第744号　隔月１日発行
令和３年（2021年）11月１日
定価30円(送料別)　年間購読料600円(送料共)
購読お申し込みは、大老連だより
編集室にご連絡ください。

昭和33年９月19日第三種郵便物認可
〒543-0021
大阪市天王寺区東高津町12-10
大阪市立社会福祉センター３階
発行所　一般社団法人
大阪市老人クラブ連合会
電　話　事務局 06(4304)8555
編集室 06(4304)8556
ＦＡＸ　06(4304)8557

長寿を喜び合える豊かな社会を目指して!!

大老連が一体となって「友愛活動」・「奉仕活動」を展開

高齢者の心ふれあう「友愛活動」の取り組み

一人暮らし高齢者などへの「声掛け運動」や「見守り支援」などの「友愛活動」は、老人クラブ誕生とともに取り組まれてきた活動ですが、大阪市老人クラブ連合会では昭和45年から寝たきり高齢者友愛訪問を開始しました。

現在では、9月の大阪市高齢者福祉月間に友愛活動の一環として、各区のねたきり高齢者を対象にした友愛訪問と今年百歳を迎えた方を対象にした長寿のお祝い訪問を実施するとともに見舞品・お祝い品を贈呈しており、区の取り組みによっては女性部のみなさんが手作りした品を併せてお渡ししています。

今年度も新型コロナウイルス感染拡大を踏まえ、訪問は状況をみながらとしてご希望により見舞品・お祝い品をお贈りするなど、136名のねたきり高齢者やその家族を励ましました。

また、百歳長寿者のお祝いも同様に67名の方々に記念品をお贈りし、長寿をお祝いしました。

関係者の皆さんには、たいへん喜んでいただいており、老人クラブが毎年続けているこのような活動が実を結んでいます。

百歳長寿者へのお祝品を手づくりする女性部のみなさん

地域を美しく/市内各所で「奉仕活動」の取り組み

昭和61年に全国老人クラブ連合会が、地域社会に対する感謝と地域の担い手としての活力を示そうと9月20日を「社会奉仕の日」に設定し、以来この日を中心として全国一斉に老人クラブが環境美化活動に取り組んでいます。

大老連でも「きれいな地球を子供たちへ」をスローガンに組織が一体となって取り組んでおり、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、活動を10月末までに延期したり、やむを得ず中止するクラブもありますが、約400クラブ5500人のみなさんが市内各所で様々な奉仕活動を行っています。

その活動の内容は、公園・駅周辺・神社・国道沿いの清掃、空き瓶・空き缶の回収、花壇の手入れ・木々の剪定、施設訪問などであり、老人クラブ活動は、単にまちを美しくする活動だけでなく、地球環境を守るための取り組みとしても進められています。

また、社会奉仕の日の活動を地域や世代間の交流を深める場にしようとする動きも年々広がっており、地域の方々や地域の子ども会と一緒に活動したところも多く、幅広い活動となっています。

会員の皆さんの社会奉仕活動に対する熱い思いが見事に結集され、老人クラブが地域社会に対する感謝と、地域の担い手としての活力を広く示す大きな機会となっています。

横一列に並んで公園の草取り

市内各地で元気に奉仕活動

第60回

大老連供養塔法要

三密を避けるため体制を縮小し、希望者による法要を実施

大老連の一大事業で、例年、クラブ員ら300名近くが参加する高野山奥の院にある大老連供養塔法要事業。今年で第60回という節目を迎えますが、新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から三密を避けるために昨年と同様、お昼の弁当会食を中止し、参加者についても区老連会長や供養塔運営委員さん等で希望する方にしぼった形で9月28日(火)に実施しました。

当日は少し花曇りの天候でしたが、参加者の思いが通じたのか何とか雨も降らずにすみ、粛々と法要を執り行うことができました。

漆谷芳幸厚生文化部会長の司会ではじまり、家門昇次副理事長の開式のことばに続いて、野口一郎理事長が主催者を代表して「ここ高野山、心のふるさと倶会一処の供養塔の御前に相集い、1千余の合祀諸先輩の霊位を偲び言上する。社会の第一線で活躍、その発展の礎を築くとともに老人クラブの育成発展に並々ならぬ尽力をいただき、お陰を以って現在の大阪市老人クラブの隆盛がある。今や超高齢化が急速に進む中で、明るく豊かな社会づくりのため老人クラブの役割はいよいよ重大となり、私どもクラブ員はますます健康の保持に努め、地域社会の向上に寄与し、もって高齢者福祉の充実に努力することをここにお誓いする。全クラブ員のご加護と諸霊位のご冥福をお祈りいたします」と祭文を読み上げました。

このあと、本王院の細川住職らによる前讃が朗々と響き、回向祭文を奉読の後、薫香ゆらぎ読経ながれる中で、野口理事長をはじめ大老連理事・供養塔運営委員さん等参詣者が祭壇に手を合わせて焼香を行いました。

最後に、生島一夫副理事長が、来年こそは新型コロナウイルスの影響を受けずに盛大な法要が実施できるように願っていると閉会のことばを述べて、供養塔法要は厳かに終了しました。

供養塔法要の開式

祭文を言上する野口理事長

令和３年度「健康づくり推進リーダー養成講座」が開講

各区老連から推薦されたクラブ会員を対象に平成21年度から事業を開始した健康づくり推進リーダー養成講座ですが、令和3年度は、8月2日に大阪府へ出され期間が延長されていた新型コロナウイルスの非常事態宣言が9月30日に解除されたことにより、講義の休止等をせずに無事に10月6日(水)午後2時から開講式と第1回講座が大阪市立社会福祉センター第1会議室で行われました。

開講式では、大老連野口理事長から「新型コロナウイルス禍により老人クラブ活動が非常に厳しい環境におかれていたが、例年各区2名の推薦を受けていたこの事業も昨年同様1名に絞って何とか事業実施にこぎつけた。私たちの活動において健康が第一であり、地域における健康づくり推進リーダーの養成はとても重要であるので最後まで受講していただき修了していただきたい」と挨拶がありました。

事務局から全体日程や留意事項の説明があり、そのあとメンタルフィットネスの代表で心理カウンセラーの下口雄山氏から「こころと体の健康づくり」をテーマとした講義が行われました。

ストレスがとれ、心の統一ができるリラックスの方法や元気の源である笑顔とプラス思考のイメージトレーニング、自律訓練法の歴史や効果などを内容とした講義が予定の時間を少しオーバーして行われましたが、受講者の方々も講師の話に引き込まれ真剣なまなざしで受講していました。

開講の挨拶をする野口理事長

第１回講座の下口雄山講師

大阪市老人クラブ連合会「愛称募集」について

このたび、大阪市老人クラブ連合会では、人生100年時代に向けて、老人クラブのイメージアップを図り、会員の輪を広げることを目的に、大阪らしさや明るく生き生きとした高齢者を連想させる、親しみやすい「愛称」を募集します。

応募期間

令和３年12月１日(水)から令和４年１月31日(月)【必着】まで

応募資格

大阪市内に在住の方ならどなたでもご応募できます。

応募方法等の詳細については、11月末までに大阪市老人クラブ連合会のホームページ（https://www.dairoren.org/common/siteuse.html）に掲載予定の「大阪市老人クラブ連合会愛称募集要綱」をご覧の上、ご応募ください。

また、募集要綱を掲載した応募用紙（募集チラシ）を、12月１日から老人福祉センター等において配架、配布する予定ですので、ご覧いただき、ご応募ください。

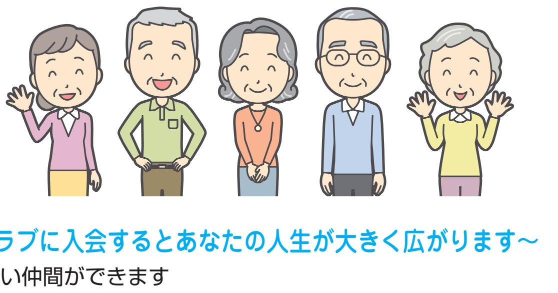
高齢者の元気は地域の元気！！

老人クラブへ大集合

―あなたも参加しませんか―

老人クラブの活動内容 !!

- 健康づくりや介護予防活動
- 生きがい活動
- 相互に支え合う友愛活動
- 子どもたちの見守りや交流、美化活動などの社会貢献活動



～老人クラブに入会するとあなたの人生が大きく広がります～

◇新しい仲間ができます
◇健康の保持増進になります
◇知識や経験を生かす機会が増え自己実現に繋がります
◇社会活動への参画と貢献ができます
◇仲間との交流でこころの安らぎ、充実感が得られます

老人クラブの入会は　◎各区老人クラブ連合会事務局（各区老人福祉センター内）
◎大阪市老人クラブ連合会事務局　☎06-4304-8555